

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス トレスポ長岡京

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

20 日

法人（事業所）理念	日本のミライのために… すべての子どもが幸せに育つことができる社会に導く 『こども一人ひとりの「喜び」に寄り添う』を基本理念に、こどもの個性や興味に寄り添い、楽しみや嬉しさを引き出す支援を提供いたします。					
支援方針	こども一人ひとりに合わせた支援計画を作成します。こどもの持つ「Skill（能力）」「Situation（環境）」を正しく把握し、できることが増えて『喜び』を感じられる支援を行っていきます。					
営業時間	9 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり 送迎の範囲：長岡京市、向日市、大山崎町及び島本町の一部
支 援 内 容						
健康・生活	<p>①健康状態の維持・改善②生活のリズムや生活習慣の形成③基本的な生活スキルの獲得を目的として主に以下の項目を支援に取り入れる</p> <p>放課後等デイサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設に到着すると入室記録、手洗い、宿題に取り組むルーティンを形成し生活リズムを整える練習とする ・自由時間において、指導員を交えて相談する時間を積極的に設ける ・宿題などの学習に取り組む際、児童の得意と苦手な把握し、取り組みやすい方法を一緒に考える（例：ひっ算のやり方、図形の見方等） ・言葉や数に関する活動を促す機会を作る <p>児童発達支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だるまさんの体遊びなどを通じて拍やリズムをとる運動遊びを定期的に行うことにより体を動かす習慣を作る ・トランポリンやサーキット、滑り台、まてまて遊び、バランスボールなど指導員の手を借りながら運動遊びの幅を広げる 					
運動・感覚	<p>姿勢と運動・動作の向上や保有する感覚の総合的な活用を目的として主に以下の項目を支援に取り入れる</p> <p>放課後等デイサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由遊びのなかで静かな遊びグループの中でペーパークラフトを足掛かりとしてお絵描きなどをする場を設ける ・運動遊びや製作、ゲーム等、さまざまな活動を提供し、お友達と勝ち負けがあっても楽しく遊ぶことのできる機会を作る ・体を使った楽しく遊べる時間を作り、体幹をいまより強くしたりバランスを取れるようにしていく <p>児童発達支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味のあるものを取り入れつつ、だるまさん遊びやサーキット遊びなどで粗大運動、折り紙、感触遊び、お絵描き、塗り絵などで微細運動を行い、それぞれの能力をのばす ・スライム、粘土、絵の具などの感覚あそびや、歌や運動、高い高いなどのふれあい遊びを行う ・色々な粘土やスライム、色水遊び、絵の具遊び、シールはり、ハサミ、つぼのり等を使い感触遊びを楽しむ 					

本人支援	認知・行動	<p>①認知の発達と行動の習得②空間・時間、数等の概念形成の習得③対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得を目的として主に以下の項目を支援に取り入れる</p> <p>放課後等デイサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おやつ等の役割分担などで「人の話を聞く」時間を作る ・好きな活動や毎日している日課的な活動において、必要なものや活動の順番等を考えたり、お友達に説明する機会を作る ・同年代のお友達が興味を持ちそうな様々な活動（簡単なルールのあるゲーム等）に参加する機会を作る ・全ての活動において、お友達への言動に対する注目を促して、その意味を振り返る（みんなで1つの紙に絵を描く際、みんなはどんなテーマで描いているかなど） ・様々な集団活動において、活動の前後に指導員の声掛けに応じた振る舞いができる <p>児童発達支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かかわり遊びの中で絵本を読んでその中からクイズを出したり双六遊びなどでいくつかの指示をきけたりする ・ブロックやおままごと遊びの中で要求を示せる環境を作ってやりとりを引き出したり指導員の模倣をして活動を共有する ・興味のあるものを使って数字やひらがなを少しづつ親しんでいく
	言語 コミュニケーション	<p>①言語の形成と活用②言語の受容及び表出③コミュニケーションの基礎的能力の向上④コミュニケーション手段の選択と活用を目的として主に以下の項目を支援に取り入れる</p> <p>放課後等デイサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなお友達の言動について、「なんで」と聞いてきたことに説明をする機会を設ける ・宿題や全体学習の時間に正しい発音を促す機会を作る ・自由時間等のお友達との活動の中で、自分の気持ちが言えていない時は指導員が言うように促す ・トレスポタイム等の活動において相談の時間を設け、意見を言う機会を作る ・全ての活動において（設定活動、自由遊び等）、自分の気持ちを伝える際に、それに適した言動の見本（距離、表情、音量、口調等をみせる ・さまざまな活動におけるお友達との関りの中で、お子さんの様子を見ながら、「イヤやっていって見たら」「なんでって聞いていたら」等のその状況にふさわしい言動を促す <p>児童発達支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で間違い探しやひらがなカードなどを使い動物、野菜果物などの名詞を覚えていく ・やりとり遊び、ふれあい遊びから発音の練習を取り入れつつ、やり取りの中でやって、などの要求を出す場面を作り要求言語を引き出す
	人間関係 社会性	<p>①他者との関わり（人間関係）の形成②自己の理解と行動の調整③仲間づくりと集団への参加を目的として主に以下の項目を支援に取り入れる</p> <p>放課後等デイサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定活動（予定、おやつ、トレスポタイム等）において、指導員やお友達のお話を聞く機会を設け、表情や口調に意識を向ける ・大人は表情や口調を大きめに接し表情や口調の変化に気づく力をつける ・自由遊び等において、自分の気持ちを伝えたり、相手に聞く機会を作る ・お友達と一緒に活動する中で、お友達を手伝う機会やお友達と折り合いをつける機会を設ける ・集団生活においてお友達と相談したりお友達の発言を聞いたりして遊ぶ機会を作る ・さまざまな活動におけるお友達との関りの中で、お子さんの様子を見ながら「気付いてないから名前を読んでみたら」「～して欲しいって言ってみたら」等その状況にふさわしい言動を促す ・活動全体を通して、遊びの輪から離れた時や表情を曇らせている時等、指導員が本児の気持ちを聞き、それを伝えるよう促す <p>児童発達支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かかわり遊びの中で絵本を読んでその中からクイズに答えたり出したりし、双六遊びなどルールのある遊びの中でいくつかの指示をきけたりする ・自発的に挨拶を返せたり、指導員に合わせて歌ったり踊ったり体操ができたりなどの社会的な活動に参加できるようにする

<p>家族支援</p>	<p>必要に応じて、家族様の困りに対し相談に応じます。オンライン可。家庭訪問可。きょうだいさんの困りに対してもお話を伺います。</p> <p>児童発達支援は療育の様子を別室でモニターで見ることが出来ます。</p>	<p>移行支援</p>	<p>必要に応じてお子様の様子を園や学校と共有します。お互いの見学など連携もしています。</p>
<p>地域支援・地域連携</p>	<p>相談支援事業所やお通いの園、学校と連携・情報共有を行います。</p>	<p>職員の質の向上</p>	<p>入社時に応用行動分析に関する外部研修を全員受けています。その後は日々の指導の中で気になる事があれば経験のある指導員が中心となってお子様の行動について考え「どうすればよかったのか」自発的に考え、行動できる人材になるよう促しています。</p>
<p>主な行事等</p>	<p>避難訓練（火災、地震、不審者対応） クリスマス、ハロウィン、初もうで等季節イベント実施 夏休みは圏域内の水遊びスポットへ適宜お出かけ</p>		